

元プロ野球関係者のための学生野球資格回復制度

2013年度からプロ・アマ双方の取り組みによる「学生野球資格回復制度」が始まり、元プロ野球関係者が学生野球(大学・高校)を指導する道が大きく開かれました。

ここでは、学生野球資格回復までの道のりをご紹介します。

= 学生野球資格回復から学生指導までの道のり =

学生野球資格回復には、NPB主催の「NPBプロ研修会」と日本学生野球協会主催の「学生野球研修会」を受けなくてはなりません。

それぞれの研修会修了後、各自が「学生野球資格回復審査委員会」に「学生野球適性審査申請」を提出し、日本学生野球協会から承認されることで学生野球資格の回復が実現します。

Step1

NPBプロ研修会受講

- 1日間(5時間程度)
- プロアマの歴史、新人選手獲得ルール、指導者の役割、傷害予防など

Step2

学生野球研修会受講

- 2日間(各日7時間程度)
- 部活動の位置づけと学校長の権限、留意すべき教育的配慮の事例、安全管理など

Step3

学生野球 適性審査申請

研修
修了者

学生野球
資格回復
審査委員会

学生野球資格回復

Step4

学生野球 指導登録届

資格
回復者

全日本
大学野球連盟
各都道府県
高野連

(公示)各連盟webサイトにて資格回復者の公示
(マッチング)指導を希望する学校からの要請により、連盟が資格回復者をマッチング

☆☆学生野球指導実現☆☆

※上記制度の他、元プロ野球関係者が教員免許を取得し、学校の選任教諭として採用されることで学生野球適性認定を受けることができます。

